～道路を拡げる工事をPR～

「へぇ～」、「なるほど」 がいっぱい
旬な現場
普段見られない工事の様子、詳しくお見せします

多治見砂防国道事務所では、当事務所の事業の理解を深めて頂くことを目的に、地域の高校生を対象とした現場見学会を実施しました。

1. 日時：12月5日（水）
2. 場所：「一般国道19号恵中拡幅事業」工事
（岐阜県恵那市大井川地先）
3. 対象：岐阜県立中津川工業高等学校建設工学科　2年生（20名）

参加者からは、「座学で学んだことと、実際に目で見たものとは大きく違い、有意義な体験だった」、「将来、建設関係の職業に就くにあたって、とても勉強になった」などの感想がありました。

立体交差の施工状況

建通新聞H24.12.12

中津川工業高校の2年生35人が見学
国交省多治見砂防国道事務所の施行現場

岐阜県立中津川工業高等学校で学ぶ2年生35人が5日、国土交通省多治見砂防国道事務所が施行する「国道19号恵中拡幅工事」の現場などを見学した＝写真。恵那建設業協会と岐阜県建設業協会の共催事業で、国交省多治見砂防国道事務所、岐阜県恵那土木事務所、中津川市が全面協力した。

開会式では、多治見砂防国道事務所の伊藤仁志所長が「地域を知ることで地域のために頑張れる」とし、プロジェクターを使って東海環状自動車道の整備効果やリニア中央新幹線と道路のネットワーク、防災対策、社会資本の長寿命化など最近の話題を分かりやすく講義した。

鳴海伸明理事長は「リニアなど地域には夢がある。一所懸命勉強し、将来は地域のために活躍してほしい」と呼び掛けた。

見学会は建築と土木の2コースに分かれて行った。土木コース20人が訪ねた「19号恵中拡幅大井トンネル北地区、南地区道路建設工事」では、国道19号下の橋脚周辺に道路を接続する工事が進んでいる。

同社は今後も小中学生や高校生などを招き「学校では学べないことを体験してほしい」と、同様の現場見学会などを行っていく意向だ。

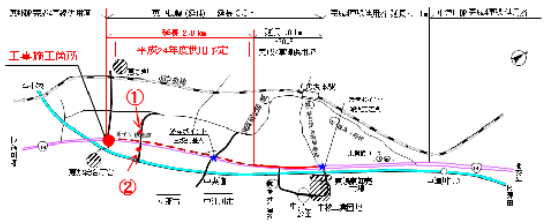
初めてみる大規模な土木工事の現場に生徒は興味津々で、各体験コーナーでは担当者の説明に真剣に聞き入っていた。

職員による説明

道路を拡げる工事が見られます

旬な現場　国道19号　恵中拡幅（けいちゅうかくふく）

国道19号恵中拡幅事業は、現道19号の交通量の増大、車両の大型化により生じる交通混雑の緩和及び沿線の地域開発の支援を目的とする4車線拡幅事業です。



① 立体交差の施工状況
※ 撮影：平成24年10月

② 立体交差の施工状況
※撮影：平成24年10月

鉄筋結束の体験